

年頭のごあいさつ

鳥取県西部中小企業青年中央会
第43期 会長 三輪 龍介

明けましておめでとうございます。

旧年中はOB会の皆様、各関係機関及び会員所属企業並びに会員ご家族の皆様には、当会活動に格別なるご支援・ご協力を賜り、心より厚く御礼を申し上げます。

また、現役会員の皆様には第43期がスタートしてからの半年間、積極的に活動しそれぞれの事業をやり切って頂いたことに大変感謝申し上げます。

本年も変わらずよろしくお願い申し上げます。

第43期はスローガンを「響～真摯な行動～」、テーマを「経営力を磨く」と掲げ、会員一丸となって活動しております。

多くのご来賓、OB会員の皆様にご参加頂き、激励を頂きました7月の通常総会・懇親会に始まり、8月は会員拡大プロジェクトメンバーによる会員拡大の重要性を共有する例会、9月は政治行政委員会による中小企業におけるリスク管理を学ぶ例会、10月は生産性向上委員会による生産性向上の目的・意義を考える例会、11月は人財・組織活性委員会による運動会を活用して組織活性を実践する例会、12月は地域交流委員会によるお地蔵さまプロジェクトを内外に周知する例会と、6回の例会を実施して参りました。いずれも各委員長を中心に皆で知恵を出し合い、各会員が所属企業に持ち帰り「経営力を磨く」ことに繋がる要素を十分に織り込んでもらった例会で、私自身もとても学ばせてもらいました。

またこの他にも、県青年中央会の親睦・視察事業、青経連事業、中海圏域交流事業など、他団体との交流を図る事業も活発に行なって参りました。

そして今年5月には一昨年、昨年と継続事業として取り組み、3回目を迎える「大山お地蔵さまフェスティバル」を企画しております。今年は大山開山1300年にあたり、地域においても様々なイベントが予定されておりますので、青年経済団体として連携を取りながら大山とお地蔵さまを通して地域の子供達の心を育む事業として充実させていきたいと思っております。

当会は新年を迎えると同時に、下半期の活動に突入していきます。上半期の活動で学んだこと、培ってきた仲間との絆によって、より一層、響き響かせ合う会となり、更には私達の活動がこの地域に響き渡り、会員はもとより所属企業及びご家族からも良い1年だったと言ってもらえることを願って下半期も真摯に活動して参ります。

本年の皆様のご健勝とご多幸をお祈りすると共に、今後とも当会へのより一層のご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



12月例会開催 **【大山お地蔵さまフェスティバルへ向けに我々に出来る事】**

平成29年12月15日(金) 於:米子市文化ホール イベントホール 担当:地域交流委員会

【『響き』とは何か】



当例会の冒頭で、三輪会長は「自分でスローガン『響き』を掲げ、今も『響き』とは何かを考えている。自分から発信して投げ掛け、相手が答えて初めて『響き合う』。外部へどんどん発信し、お地蔵さまプロジェクト第3回に向けて機運を高めていこう」と挨拶され、全会員の士気を高めた。

続いて新入会員バッジ授与があり12月入会の下村 英一 会員(山陰建設サービス株式会社)は「自分を成長させるステージに立てた事にワクワクしている。」と述べ、中央会での活躍を誓った。

委員長タイムでは人財・組織活性化委員会 永井委員長(贈答のマナー)と題し、クイズ形式で紹介した。間違えやすい「水引き・祝儀袋の種類と正しい選び方」「使い分ける上包みの上下・包装の左右」等のポイントを説明し、「迷ったら私に相談してほしい」と締めた。



当例会は三部構成になっており、第一部と第二部は行政機関並びに教育委員会、大山観光、メディアなどの関係各所よりお招きした31名の招待客と共に聴講した。



第一部は我々が「お地蔵さまプロジェクト」を企画・実施するにあたり、ご助言・ご助力を賜っている「角磐山大山寺圓流院」住職 大館 宏雄(おおだて こうゆう)様をお迎えし、「大山とお地蔵の魅力」についてご講演頂いた。

【訪れば全てが『調ふ』大山】

「平成30年に開山1300年を迎える大山は、『神の住まう山』として平安・鎌倉の時代より天皇家・公家との縁が深く、修験道の聖地であった」、「実体のない土着信仰が仏教の良い部分を取り込み、人の姿を持つ信仰対象として地蔵菩薩を祀った」と大山寺の歴史を紐解き、「なぜ本尊がお地蔵様なのか?」を解説された。

最後に「お地蔵さまがおられる大山に来れば疲れた体も病んだ心も癒され、足りないモノは全て『調ふ』」「子供たちがお地蔵様に触れる事で芽生えた『信仰の種』が、自身や人の命を大切にでき、明るい未来を背負える人に成長させる」ように願いと祈りを開山1300年祭と『調ふ』という言葉に込めておられる事を語られた。



【起爆剤になりたい】

第二部では担当委員会より、今年5月に中海TVで放送された第2回お地蔵さまフェスティバル当日のVTR観賞と概要説

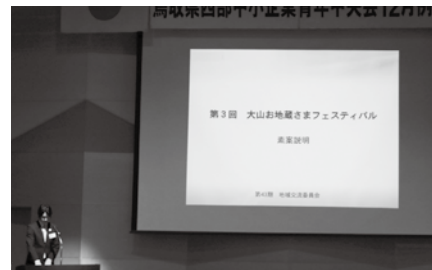


明、並びに第3回フェスの開催に対する協力要請が行われた。「手探りで始めた第一回は、心に残る第一歩だった」という言葉は、我々が一步步前進している事を象徴していると感じた。第二部の最後に秋里副会長より「開催日が1300年祭の1週間前。祭りの起爆剤となるよう頑張りたい。」と決意と謝辞が述べられ、拍手の中、講師と招待客にご退場頂いた。



【全体の協力が必要】

第三部は堀尾委員長より、会員向けにプロジェクトの素案が発表された。2つの事業目的「大山の魅力発信+地元愛の促進」「大山寺参道の活性化」を掲げ、そこから更に細かな取組みへ繋がるが、その中でも面白いのは「お地蔵さまの着のみを用意し、愛着の湧く広報キャラクターとして活用」という点だろう。



なお、このキャラクターは1月新年例会でお披露目する予定となっており、愛称を募集している。会員全員が一丸となって取り組めるよう、組織づくりにも一工夫がされている。2018年5月13日(日)が楽しみで堪らない。

(記事:長谷川T)

12月例会を終えて



年末の大変お忙しい中、多くの会員の皆様及び招待者の方々にご参加いただき、ありがとうございました。12月例会はセミナー例会とし、行政・メディア関係者や保育園・幼稚園関係者、当会OB会長など31名の招待者にもご参加いただき、当会継続事業の『お地蔵さまプロジェクト』を紹介させていただく機会となりました。

第1部では、大山寺圓流院住職 大館様より「大山とお地蔵さまの魅力」と題し、大山のいわれや歴史をお話して、お地蔵さまのありがたさや魅力についてお話いただきました。第2部では、お地蔵さまプロジェクトのこれまでの振り返り、活動内容の紹介をさせていただきました。招待者にも我々の活動を知っていただきやすいように、動画やたくさん写真を使って資料作成をしました。また発表者の三谷会員の優しい口調もあり、参加者の皆さんがうなずきながら見入っていた様子でした。第3部では上期の間、地域交流委員会で検討を重ねた、第3回大山お地蔵さまフェスティバルの素案説明をさせていただきました。今後、会員皆さんと準備を進めていく上で、これまでの活動を振り返られた事、今期のフェスティバル概要を紹介できた事は、5月の本番に向け、皆でしっかり進めていくスタートにできたのではないかと思います。今後、皆様にはいろいろとお願いする事になると思いますが、ご協力いただけますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

地域交流委員会 堀尾一仁 委員長
(株)堀尾建築設計事務所 専務取締役

1月新年例会に向けて

総務・広報委員会 木嶋康之委員長

(株D・I・P)



下期初めの事業として新年例会が行われます。来賓、OB会員の皆様をお招きしての大切な事業でもありますので、総務・広報委員会はもちろんのこと全会員でおもてなしをし、皆様楽しんで頂ける企画を実施致します。

毎年恒例となっていますが、今年も新入会員によるアトラクションを行い、43期のスローガンである「響」を体現した演目を披露致します。新入会員の方々も必死に練習を重ね、その団結力に安心すら感じております。そして長年この西部地区において活動されております「米子歌舞伎保存会」様をお呼びし、大人と子供が作り上げる情緒に溢れ、それでいて華のある歌舞伎を披露して頂きます。未来ある子供達からパワーを貰い、中央会にとって新年、またこれから先の未来への活力となるシーンになると考えていますので当日はご期待下さい。

1月新年例会を通じ、全会員が団結し心を響き合わせられるよう総務・広報委員会一丸となって取り組みますので、皆様ご協力よろしくお願い致します。

OB訪問

加藤典史OB (第37期ご卒業)

有限会社 元勢アルミ

米子市大篠津町3392-1 TEL.25-0689(代)

【業務内容】アルミサッシ・住宅機器販売・エクステリア工事



今回は有限会社 元勢アルミ代表取締役の加藤典史OBに現役時代の思い出についてお聞きしました。

中央会には約15年間在籍しました。入会した当初は(記憶では)同い年以下が3名しかおらず、あとは年上の先輩ばかりでした。知り合いは紹介者1名のみでのスタートでしたが、今では沢山の先輩・後輩と知り合えて、本当に入会して良かったと思っています。中央会で教わったことや経験は、今では公私共に様々な場面で大変役立っていると実感できます。

総務委員会の副委員長をさせて頂いた時は、当時の委員長と委

員会前の打ち合わせを、私の仕事が終わる夜の11時頃から日付が変わって2時か3時までやったのを思い出します。その後、委員長をさせて頂いた魅力アクション委員会では、この地域の魅力を特に「水」をテーマに委員会を進めていきました。委員長タイムは、「我が家の懸賞生活」についてしゃべらせていただいたのも思い出です。

現役会員の皆さんへメッセージを言うとするならば、(入会しているからには仕事も忙しいと思うが)委員会・例会に出席するのは勿論だが、2次会・打ち上げ旅行・ゴルフ・OB交流会等積極的に参加することも実は大事です。会議中よりも本音で語れて、また気の合う友達も沢山できると思うので…。これからも中央会の益々の発展のために、体に気を付けて頑張ってください。

(記事:生田)

新入会員オリエンテーション

12月13日(水)米子市公会堂にて行われた新入会員オリエンテーションに参加させていただきました。冒頭で三輪会長より挨拶があり、奥森専務理事から今期のスローガン、テーマ、委員会別年間活動方針について説明がありました。続いて担当である人財・組織活性化委員会のメンバーの皆様から資料に基づき中央会という組織や会として行う事業など9つの項目について説明していただきました。43年と長い歴史のある青年中央会の重みを感じる内容でした。その後、質疑応答、松井副会長の総評があり閉会となりました。

場所を海座に移し懇親会が開催されました。和やかな雰囲気の中で、先輩会員の方々と交流を深めさせていただきました。そして今期卒業される会員の皆様から中央会の活動を通じて自身がどのように成長したのか、何を得たのか、中央会の活動をしていく上で大事なこと、大切にしていることなど貴重なお話を聞かせていただきました。

まだまだ自分自身理解できていないことや、わからないことが多々ありますが、この日聞かせていただいたことを忘れず、積極的に中央会の活動に参加していくことで一つひとつ学び、成長していきたいと思えます。先輩会員の皆様、お忙しい中、新入会員オリエンテーションを開催していただきありがとうございました。

(記事:安達大貴)



LOVE
LOVE

中央会

～中央会をふりかえって～

廣谷栄一 (司法書士 廣谷栄一事務所 所長)



10年前、役員会の扉を緊張しながら開け、ずらっと並んだ役員の前で顔を真っ赤にしながらか自己紹介をしたのを今でも鮮明に覚えています。入会当初にお話しさせて頂いた卒業間近の諸先輩は、オーラが凄かった。10年経ち、私があの時の諸先輩に少しでも近づける事が出来たのか甚だ疑問ではありますが、良い機会ですので僣越ながら私が思う青年中央会を後輩の皆さんに伝えさせていただきます。

一言でいえば「青年中央会とは理不尽を学ぶ場である」という事です。特に入会当初は会の活動に対して理不尽だと思うことが多いかと思います。本業が忙しい時に何故こんな事しないといけないんだ、何故先輩のこの命令を聞かなきゃならないんだ、何故何故何故…の繰り返し。中央会活動を続けて行く上で、決して自分の納得のいくものばかりでは無いと思えます。でもね、仕事をしながら生きて行く上で100%自分の納得いくように物事が進むなんて事は無いのです。一見理不尽と思えるこの場で、如何に時間を作るか、如何に相手の為に動けるか、それを学ぶ場だと理解してください。そして、矛盾しますが、活動を続けて行く中で、この中央会で行われる理不尽が実は意味があり、自分が生きて行く上で糧になるものだと思いつく時がきっとある筈です。

そんな大切な事に気付かせてくれた理不尽中央会に感謝し、大好きなまま卒業したく思います。皆さん今まで本当にありがとうございました。

中央会交響曲

副会長 福山 輝展

「自分に影響を与えたもの」というお題ですが、改めて考えると難しいですね。色々なものに影響を受けて今の自分があるわけですが、自分の人間としての幅を広げるために「今までにない経験ができた」という点では、青年中央会に入会したことが一番大きいと思います。入会しなければ会う事なかった仲間は皆それぞれに魅力的で、そんな仲間と過ごす時間はご存知の通りとても刺激的です。結構な負荷もありますが、サラリーマン生活の中では経験したくてもできないような社会勉強をさせてもらっています。色々な趣味のきっかけにもなりましたし、飲みすぎてお酒にも強くなりました。まとめるとそれもこれも「素晴らしい仲間との出会い」のおかげですね。

Motto 教えて

中西 悠介 (株)LABO 工事部長

42期6月に入会致しました株式会社LABOの中西悠介と申します。所属の委員会は人財・組織活性化委員会です。当社は日野川土手近く米子市皆生新田に事務所と資材置場を構えております。業務内容と致しましては建築工事、土木工事、解体工事、ハツリ工事、ダイヤモンド穿孔、各種アンカー工事、産業廃棄物収集運搬と手広くやっております。



個人的に音楽を聴くことが大好きで車や徒歩の移動中、休憩時間の時などに音楽を聴いています。かといって音楽がとても詳しいというわけではないのですが、色々なジャンルの音楽を聴いてみたいと思っているので、会の皆様のオススメのジャンルや曲がありましたら是非とも教えて頂きたいと思っています。

また私自身、色々と人間の幅を広げていきたい事を社長に相談した所、中央会を勧められ入会を決意致しました。当たり前の事かもしれませんが、何事も自分自身が行動を起こさなければ成果が得られないと改めて思いました。打たねば鳴らぬ気持ちをもって仕事と中央会活動を通じて自己研鑽に努めてまいります。皆様ご指導よろしくお願い致します。

〈新入会員〉

(地域交流委員会)



しもむら えい いち A型
下村 英一
山陰建設サービス(株) 営業部 係長
建設業
〒683-0851 米子市夜見町3083-5
TEL 29-9421 FAX 29-9094
(KT) 080-6252-5963
(EM) shimomura@sanken.org
S58.02生

〈コメント〉皆様はじめまして。山陰建設サービス(株)の下村英一と申します。これから皆様と一緒に活動させて頂けることを楽しみにしております。何事も前向きに精一杯頑張りますのでどうぞよろしくお願い致します。



燃えよ龍 我が社の経営力

足立 鷹大 (株)八百屋トマト 代表取締役

弊社は平成17年に創業し今年で13年目となります。この13年という月日の中で得た「強み・自慢」をご紹介したいと思います。

まず「強み」です。私は20歳で創業しました。20歳という若さですので、商売としての友人、知り合いは誰1人としていませんでした。そこで私は簡単な名刺を作り、気になったスーパー、農家、飲食店にアポなしで行き人脈を広げていきました。1人、また1人と



人脈は広がり、今では沖縄から北海道までお世話になっている方が増えました。この名刺1枚から始まった人脈作りの結果、中央会にも入会することができ、さらに人脈は広がりました。この「人脈」が弊社の強みです。

「自慢」についてですが、この話も人についての話となります。弊社には11人のスタッフがいますが在籍6年未満は1人もいません。創業13年の約半分である6年間も共に考え、行動してきた「11人」が自慢です。この11人がいなければ今の弊社は存在していません。人がいるから商売ができ、生活ができます。今後も、もっともっと仲間を増やしていきたいと思えます。

所属企業名称変更のお知らせ

長谷川恵一会員

(旧) カルテックジャパン株式会社

(新) HASEGAWAテクニカ株式会社

お手数ですが会員手帳の修正をお願いします。

1月役員会報告

平成30年1月5日(金)東光園にて開催されました。

当日の主な内容は以下のとおりです。

・12月例会報告の件

・1月新年例会開催の件

・2月例会開催の件

詳細については各委員長にご確認下さい。

1月新年例会案内

と き：平成30年1月15日(月) 18:30~21:00

と ころ：スマイルホテル米子(芙蓉の間)

内 容：新年例会

担 当：第43期 総務・広報委員会

編集後記

今年の干支は戌ということもあり、ディズニーの年賀はがきの他、スノーピーの物も発売されたそうです。年賀状を書いたが、「習字を習っておけばよかったなあ」と思う次第です。2018年も良い年になりますように。

(広報委員会 高田 典宗)